

## 令和2年度 事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和3年3月16日

放課後デイサービスひだまり

〇この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った評価です。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			環境設定を検討、変更しながら安全安楽に活動できるように工夫をしています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			厚生労働省の人員配置基準を満たし、尚且つ利用人数に応じてスタッフを配置しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			前年度検討していました手洗い場につきましては、ウォーターガイドを使用する事で改善をはかりました。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			個別支援計画に記載の目標に対し、担当職員が活動後に毎回評価、記録を行っています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			毎年アンケートを実施し、保護者の方からの意見や要望をもとに改善を図っています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			保護者等向け評価、事業所における自己評価結果は、保護者のみなさまに配布するとともに、HPで公表いたします。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者による外部評価は実施しておりません。今年はボランティアさんや実習生の受け入れができませんでしたが、その都度ご意見等頂くようにしています。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		権利擁護のオンライン研修に参加しました。研修の機会は少なかったですが、感染症拡大防止対策への話し合いや感染症知識の勉強をしました。研修の場を設け、一人ひとりのスキルアップへ繋げて行きたいと考えています。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			年2回保護者との個別面談を実施し、ニーズや課題を伺っています。その上で、放課後等デイサービスとしてできること、支援方法などを保護者の方と一緒に考えています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		個別に応じて写真カード等を支援の中に取り入れています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			月に1度活動するミーティングを行い、立案・計画を立てています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			固定されている遊びにはルールの把握等回を重ねていくうちに自然と成長に繋げることで考えています。また、話し合いで決めていくことで、新しい活動も取り入れていけるようにしています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		集団活動の内容はミーティング時に職員に伝えるようにしています。また、活動前にも注意事項等周知するようにしています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別活動だけでなく、集団活動を取り入れることで、人と関わる機会や経験ができるようにしています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○		前回のご様子や、気になる事などがある場合については事前に引継ぎをするようにしています。支援の内容等に関しては、個別支援計画やモニタリングシート等で支援に入る前に確認を行うようにしています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			課題や共有事項や、気付き等があった時は、時間を取って話し合いを行っています。また、申し送りノートや個別ファイルに記入し、全スタッフが把握できるよう努めています。

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		個別ファイルに、支援内容・活動の様子を記録し、定期的に振り返りを行うことで支援の検証・改善に努めています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		定期的にモニタリングを行い、各自の成長に合わせて計画の見直しを行っています。また、相談支援員との連絡を通じ、利用者様の支援内容の共通認識を図り、方向性を確認しています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○		交替わりの集団活動(遊び)と、個別支援を組み合わせさせて、総則の基本活動を行っています。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		事業所を代表して管理者または児童発達支援管理責任者が参加しています。
関係機関や保護者との連携	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		今年度は年間行事予定表や保護者の方の連絡等で学校行事の把握に努めました。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	現在ひだまりでは、医療的ケアのある方のご利用はありません。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		児童発達支援事業所への訪問や情報提供を図っています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		障害福祉サービス事業所への情報提供、また事業所職員や相談支援員による見学を受けています。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		適宜、専門機関と連携を取り、適切な支援を行えるよう、また研修に参加するよう努めています。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	感染拡大防止対策の為、ボランティアさんや近隣の方とのコミュニティーをほとんどもてませんでした。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		子ども部会事業担当者会議に、管理者が参加しています。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		毎日のお迎え時に、利用者様の当日の様子や状況をできるだけ細かく的確にお伝えするよう努めています。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		事業所主催で、「卒業後のこと」を題材に相談支援員による保護者向け研修会をZOOMで、また「きょうだい児ママサロン」は紙面にてやり取りし、感染拡大防止対策をとりながら実施しました。
	保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	
㉛		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		相談支援員と定期的な情報共有を行い、利用者様の共通認識を図り、共通な対応ができるよう努めています。また年2回の個別面談以外でも、必要に応じて保護者の方の相談に応じることができるよう努めています。
㉜		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	コロナウィルス感染拡大防止対策の為、今年度の保護者会を中止しました。

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		ご意見箱の設置、苦情受付窓口（管理者）の案内を入り口部に掲載しています。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月の活動内容や様子を通信として配布しています。またホームページ内のブログでも活動の様子を紹介しています。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○		関係機関の情報共有、写真掲載等に関する同意書を交わし、必要以上の情報共有がないよう注意しています。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		個人面談や連絡帳、お迎え時の会話等でコミュニケーションをはかり、利用者様、保護者の方との意思の疎通に努めています
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		コミュニティスペースやどの方でも相談できるまちの保健室を地域の方に利用して頂きたいと考えています。今年度は、笑福祭の中止等、感染拡大防止対策の為、地域の方との交流機会がありませんでした。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		緊急時対応については、定期的に保護者の方に確認を取り作成しています。災害時対応、感染症罹患児童への対応の資料は、毎年度初めに利用者様に配布しています。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年2回の避難訓練に加えて定期的な訓練を行えるように考えています。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		県の行う定期的な研修会に参加したり、社内研修を行い、適切な対応に努めています。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		個別面談時に保護者の方と相談し、必要な場合は個別支援計画に記載し同意を得ています。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		保護者とアレルギーについての確認を行っています。必要に応じて医師に確認を行う事も考えています。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		2か月に1回のリスク管理委員会を行い、各事業所で起こったヒヤリハット事例について、対応などの検討をしています。その後、ミーティングで職員全員と共有し、再発防止へ繋がられるようにしています。